

技術に関心、応援の考え

仏の研究所長 関連企業を視察



千田精密工業を訪れ、加工した製品の説明を受けるオリビエ・ベシュト所長 (右)



奥州

フランス北東部のアルザ

ス地方と日本との経済や文化交流を行うアルザス欧州日本学研究所のオリビエ・ベシュト所長(42)らは16日

初来県し、本県が誘致実現に取り組む国際リニアコライダー(ILC)への参入が期待される奥州市内の関連企業を視察した。ベシュ

ト所長は本県誘致を応援する考えを示した。

ベシュト所長はフランスの国会議員で科学技術を担当。超党派の国会議員らによる欧州訪問団が国際協力体制の構築を目指して1月に渡仏した際も意見交換に参加するなど、欧州の素粒子物理研究の推進で重要な役割を担っている。

同日は、奥州市前沢字五合田の千田精密工業を視察し、千田伏二夫社長(72)らから半導体や部品製造など事業内容、金属加工機械の

説明を受け、精密な加工技術に関心を高めた。

ベシュト所長は「(同社の)ノウハウや仕事に対する強い思いに感心し、ILCに必要な技術を持っている企業だと感じた。ILCを個人的にも国会議員の立場としても応援していきたい」と語った。

同日は盛岡市内で達増知事と意見交換し、金ケ崎町のデンソー岩手も見学した。17日は東京都内で誘致関係者と懇談する予定。